

生誕130年、五島慶太の生家訪問

青木村
殿戸

東京都市大学グループ運営の五島育英会



校法人東横学園が統合して学校法人五島育英会が誕生した。

現在は「東京都市大学」の共通名称の1大学、3高校、2中学校、1小学校、1幼稚園を設置する。県内には塩尻市に東京都市大学塩尻高校があり、昨年度は野球、サッカー、女子バレーボールが全国大会に出場するなど躍進している。

【写真】

東京都市大学グループを運営する学校法人五島育英会(安達功理事長、東京都渋谷区)の本部役員約30人がこのほど、青木村殿戸にある同会初代理事長の五島慶太(1882~1959年)の生家を訪れ、五島の生誕130年という節目に改めてグル

ープの発展を祈念した。五島は東急グループの創始者として知られているが、同会も五島が昭和14(1939)年に女子の実践的教育普及を目的に設立した東横商業女学校が源。同30(1955)年に学校法人武蔵工業大学と学

生家は隣に住む上野雅幸さん(81)の祖父が購入し、現在も農機具置き場として上野さんが管理している。この日は上野さんと村観光大使の北村政夫さんが一行を案内し、囲炉裏が残る居間や五島が勉強していた部屋などを熱心に見学した。同会の國分榮専務理

事によると、今年は生誕130年を迎えるため、これを記念して五島の教育事業に特化した2種類の記念誌発行を予定しているという。今回は本部の親睦旅行の途中で立ち寄ったもの。生家に行く途中の国道143号線の近くにある五島慶太記念公園も見学した。

この記事・写真等は東信ジャーナルの許諾を得て転載しています。無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

東京都市大学グループ
学校法人 **五島育英会**